



平成 23 年 4 月 4 日

各 位

大阪 市 中 央 区 瓦 町 三 丁 目 5 番 7 号
株 式 会 社 ア ド バ ン ス ク リ エ イ ト
代 表 取 締 役 社 長 濱 田 佳 治
(コード番号 8798)
(連絡先) 取締役 執行役員 経営企画本部長 村上 浩一
電話 06-6204-1193

当社アナリストレポート発行に関するお知らせ

記

2011 年 4 月 1 日付けで当社に関するアナリストレポートが高木証券株式会社より発行されましたのでお知らせいたします。

以上

高木レポート



Joint Smile

【フォローアップ】

アドバンスクリエイト(8798)

2011年4月1日
投資調査部
(担当) 関口健二

【証券情報等】

【株価指標】

【財務指標(10/9期)】

上場市場	ジャスダック	(4/1)終値	68,000円	売上高営業利益率	11.3%
業種	保険	予想PER	11.5倍	自己資本利益率	12.6%
売買単位	1株	PBR	2.1倍	自己資本比率	45.8%

【業績推移(連結)】

(単位:百万円、%、円)

期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり		
		伸び率		伸び率		伸び率		伸び率	利益	配当	純資産
08/09	6,689	-21.7	122	-85.8	-131	赤転	-623	赤転	-5,639	0	29,656
09/09	6,491	-3.0	777	533.2	459	黒転	304	黒転	2,857	3,000	31,879
10/09	6,773	4.4	766	-1.4	429	-6.5	446	46.4	4,072	3,000	32,784
11/09 2Q 予想	4,050	24.3	950	197.8	750	400.0	350	155.5	3,217	1,500	—
11/09 会社予想	7,750	14.4	1,550	102.3	1,300	203.0	650	45.7	5,994	3,000	—

*予想は3月30日会社公表修正値

☆ 保険募集代理店專業最大手

アドバンスクリエイトは、各社保険商品の比較・資料請求サイトである「保険市場(ほけんいちば)」により保険代理店業界最大手の地位を築いており、ネット経由での顧客誘導を積極的に推し進めてきている。同時に『リアル』の店舗展開とコールセンターの活用により『ネット』と『リアル』を融合した販売体制を確立している。現在の店舗数は全国に25店舗(4月1日現在)と少ないが、空白地帯については店舗を持つ同業他社との協業を推進しており、固定費を抑えた効率的な営業体制が確立しつつある。

募集した保険会社からの手数料収入が収益の大部分を占め、2010年9月期ではアリコジャパン、東京海上日動あんしん生命、あいおい生命からの手数料収入が売上高の48.5%を占めている。2008年9月期は拡大しすぎて非効率となった店舗の閉鎖コスト増によって大幅減収・最終赤字になったが、販売体制が安定することで今期については大幅増益を計画しているほか、今期からは税務上の繰越損失の解消により当期純利益についても平常化する見込みである。

☆ 今期二度目の利益上方修正

3月30日付にて、連結子会社であるアドリック損害保険(アドバンスクリエイトの持ち株比率50.1%)をあいおいニッセイ同和損害保険に吸収合併させることが決定し、この影響と関係会社株式評価損8.5億円の評価損計上に伴う業績見通しの修正を行った。単体ベースの純利益にはマイナス寄与となったものの、連結ベースでの各利益は上積みされており、2011年9月期では営業利益が前期比約2倍、経常利益では約3倍を見込んでいる。一方、売上高についてはアドリック損害保険分として3億円の下方修正となった。なお、配当については期初見通しから変わっていない。

○ 2011年9月期業績予想の会社発表数値推移(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	一株利益	年間配当
11月12日期初予想	7,500	1,100	800	450	4,112円	3,000円
2月10日修正	8,050	1,350	1,050	600	5,524円	3,000円
3月30日修正	7,750	1,550	1,300	650	5,994円	3,000円

(最終ページの「ご注意頂きたいこと」をお読み下さい)

☆ 足元順調な伸びが続く

販売形態別の申込ANP(年換算保険料)では通信販売と対面販売で4分の3以上を占めている。両販売形態ともに申し込み件数は順調な伸びが続いているものの、通信販売における申込ANPは伸び悩んでおり、これは海外旅行保険などの比較的保険料が少額な商品に対する増加が背景となっている。一方、きちんとした説明を受けた上で申込に至る対面販売でのANPは件数を大幅に上回る増加となっており、販売チャネルの多様性が、安定的な収益につながりつつあるといえよう。

また、現在保険相談が可能な店舗総数は273店舗あるが、直営は僅か25店舗に留まっており、同業他社との協業を大きく進めて全国を網羅している。ネットやコールセンターから『リアル』店舗への誘導が当社の強みであり、協業店舗への顧客の誘導は直営店舗と比べて利益率は低下するものの、固定費を省略した効率的な販売体制として大幅な伸びを見せている。

○ 販売形態別申し込み状況 (単位%：前年同月比伸率)

	新規申込件数			申込ANP*		
	12月	1月	2月	12月	1月	2月
通信販売	+27	+18	+16	+10	+3	-6
自動車通販	-5	+8	+9	-5	+8	0
対面販売	+8	+23	+20	+30	+46	+48
協業	+96	+113	+137	+29	+55	+52
法人	-	-7	-21	-	+22	-10
合計	+22	+19	+19	+18	+24	+19

* ANP = 新契約年換算保険料(月払い保険料5,000円だとANPは60,000円)

☆ 積極的な株主還元策

また、当社は株主還元に対して積極的である。昨年11月には発行済み株式の2.1%に当たる2,400株の自己株式の消却を発表したほか、今年2月までに1,582株の自己株式の買入を実施、さらに6月までに1,500株(自己株式除く発行済み株式数の1.39%)の買入を発表するなど、間断なく自己株式の買入を行っている。また、配当については年間3,000円配当を続けてきており、今期計画における配当性向は50%と、業績に安定感が出てきた内需好配当銘柄として注目したい。なお、震災の影響については、宮城県名取市の名取エアリ店が現在休止中となっている。

「ご注意いただきたいこと」

当資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資の最終決定はご自身でなさるようお願いいたします。株価の下落や発行者の信用状況の悪化等により、投資元本を割り込むおそれがあります。また信用取引ではその損失額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。株式を委託取引により購入する場合は、約定代金に対し、最大(税込)1.1634%(2,625円に満たない場合は2,625円)の委託手数料をいただくこととなります。

商号等：高木証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号 加入協会：日本証券業協会

<売買管理課承認済>